

小学校 高 学年<5-(18)>

学 年	5年	時 間	家庭科「わくわくミシン」 ～防災頭巾を作ろう～	時 期	9月	時 数	6時間 第6～11時/全11時間
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンに関心をもち、安全に操作し、直線縫いができる。 ・布に関心をもち、製作計画を立てて製作し、生活に生かそうとする。 ・災害時に大事な頭を守るために役立つものとして、防災頭巾を作り活用する。 						
資 料・ 準 備	過去の地震被害写真、阪神・淡路大震災のけがの原因グラフ、ワークシート（ノート）、布の種類見本、防災頭巾見本、裁縫道具、型紙（新聞紙等で第1時に作成）、新聞紙等、布（90cm巾70cm位）、浴用タオル4枚程度（30cm×80cm位）、手芸用幅広ゴム（1～2cm巾50cm位）、縫い込む物（下着、靴下、Tシャツ等）、入れる物（大判ナイロン袋等）						

展開（第6時）

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 過去に起こった地震被害状況やけがの原因について知る。</p> <p>◇地震の被害写真とけがの原因グラフを見て気づいたことを発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崩れた家の中に閉じ込められたり、家具の下敷きになったりしたら怖い。 ・家具の置き方の工夫や固定が大事だ。 ・頭を守ることが大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参考資料として最近の地震被害資料、阪神・淡路大震災、鳥取県西部地震等の被害写真や阪神・淡路大震災時の内部被害によるけがの原因グラフを見せ気付いたことを発表させる。 ○家や家具の下敷きになった人が多いことに気付かせ、大切な頭を守る手立てとして防災頭巾が有効であることに気付かせたい。 ○意識づけとして短時間で扱うようにする。
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 頭を守る防災頭巾を作ろう </div> <p>2 防災頭巾を作る計画を立てる。</p> <p>◇いろいろな布の見本を見て特徴を知り、防災頭巾に適した布は何か話し合ってみましょう。</p> <p>◇一石二鳥の防災頭巾について（避難所でも役立つ防災頭巾にするために）中に綿の代わりにどんなものを入れたらいいかグループで話し合い、自分が入れるものを決めましょう。</p> <p>3 型紙を作る。</p> <p>◇新聞紙で型紙を作りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの布製品を挙げさせ、その特徴について考えさせる。 ○いろいろな布の見本とそれぞれの布の特徴についてまとめた資料を見せて話し合わせる。 ○避難所で役立ち、中に縫いとめておく物や入れておくものとよい物をグループで話し合わせ、自分が入れる物を決定させる。 ○新聞紙で型紙を作り切り抜く。 ☆防災頭巾の有用性と避難所生活に必要な物について考えることができる。
ま と め	<p>3 本時のまとめと次時について</p> <p>◇防災頭巾の有用性についてまとめましょう。</p> <p>◇次時に必要な布やひもを準備しておきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○防災頭巾の有用性についてまとめる。 ○防災頭巾製作に必要な布を次時まで家に家の人と一緒に準備しておくよう伝える。 ○中に入れる物については、家の人とも話し合い家に準備しておくよう伝える。

展開（第7時～第11時）

第7時・第8時・第9時（ミシンを使う）

- 型紙を布に当て、布を切る。（ほとんど切らなくてもよい。）
- 縫い代のしるしをつけて、三つ折り縫いや合わせ縫いをミシンで直線縫いする。
- 宿題として、家でタオルに縫い込む物を手縫いで荒い縫い目（3cm位）で縫い付けておかせろ。
タオル2枚を重ね、それに荒く縫い付ける。これを2組作り、外側がタオルになるよう中合わせにして、タオルの端を荒く縫い合わせた物を準備させておく。（資料参照）

第10時・第11時

- 後頭部分を頭頂部から5cmごとに30cm位まで針と糸で三重四重に止め、糸の端は結ばず切る。
- 家で準備した入れる物を布の間にはさみ、前部を5か所（10cmおき）ホックを付けて止める。
- 幅広ボムの両端をミシン縫いまたは手縫いでしっかり頑丈につなぎ、防災頭巾にかけてくるむ。
- まとめとして、苦労したところや感想などを発表しあい鑑賞し合う。
- 家庭に持ち帰り、自分の学習椅子等にかけて、家庭にいる時の非常時等に備えておく。

★他の教材として、非常時避難袋の製作も考えられる。